

# 「日露運輸協力に関する政府間作業グループ」の結果概要

2008年3月

## 1 日時・場所

2008年3月7日（金）（於：モスクワ・連邦院内会議室）

## 2 出席者

### (1) 日本側

国交省（福本大臣官房審議官他）、外務省、経産省、在露大 他

### (2) ロシア側

ポドレソフ連邦院議員、運輸省（ツィデノフ鉄道輸送分野国家政策局次長、  
ドゥルジニン同次長他）、外務省、経済発展貿易省、連邦税関庁 他

## 3 会議結果

### (1) 物流・貨物輸送

- ・ 日本側より、シベリア鉄道を利用した貨物輸送にあたっての課題や要望事項として、輸送料金の安定、税関手続の簡素化等を説明。
- ・ ロシア側は、これに対する回答を後日書面で行う旨を表明。

### (2) 旅客輸送

- ・ 日本側より、日本の高速鉄道を寒冷地で適用するにあたっての技術的な課題を具体事例を用いて示し、新たな技術開発が必要であることを説明。
- ・ ロシア側はこれを理解。

### (3) 2030年までのロシア鉄道発展戦略

- ・ ロシア側が同戦略について説明。

### (4) 総括

- ・ 「日露運輸協力に関する政府間作業グループ」における協議を今後も継続していくことで一致。
- ・ ロシアにおける物流・貨物輸送及び旅客輸送の整備に関する協力について検討を継続することで一致。
- ・ 今後の会合の日程については、外交ルートで調整。